

本アンケートへのご協力をお願い申し上げます。
ぜひ、みなさまの声をお聞かせください。

市内企業における女性活躍及びワーク・ライフ・バランスに関するアンケート(案)

平成30年6月
岡山市女性が輝くまちづくり推進課

平素から岡山市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

岡山市では、女性が社会の中で能力を十分に発揮できるよう、女性にとっても男性にとっても働きやすい職場環境づくりや、女性活躍に向けた働き方及び意識の改革に取り組んでいます。

こうした中、岡山市内各企業における、女性活躍推進に関する現状や取組状況及び仕事と家庭の両立支援制度の利用状況を把握することにより、本市の女性が輝くまちづくり関連施策を検討する基礎資料とすることを目的に調査を実施いたします。

1 調査項目

本調査は、市内各企業における女性活躍に向けた取組状況及び仕事と家庭の両立支援制度の利用状況についておうかがいします。

2 調査対象

岡山市内の従業員10人以上の企業から抽出した約1,200社に送付しています。

3 調査基準日

特にことわりのない場合、平成30年6月1日現在の状況についてお答えください。

4 ご回答をお願いしたい方

経営者または、人事労務担当者の方の回答をお願いします。

5 ご記入後について

同封の返信用封筒に入れ、7月17日(火)までに郵便ポストにご投函くださいますようお願いいたします。

6 その他

- 本アンケートで収集したデータは、統計的に処理し、市内企業における女性活躍の取組状況や仕事と家庭の両立支援制度の利用状況の把握及び今後の施策の検討を行うため以外に使用することはありません。また、個々のデータ、企業名を公表することはいっさいありません。
- 本アンケートの収集結果は、岡山市のホームページなどで公表する予定です。
- 設問へのご回答は、選択肢がある場合はその番号を○で囲み、それ以外の場合は適宜ご記入ください。

本調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願いいたします。

この調査についてのご質問は、以下のお問い合わせ先までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

岡山市女性が輝くまちづくり推進課
高村
電話:086-803-1115
FAX:086-803-1845

I 基本属性

問1 貴社についておうかがいします。

問1-1 主要業種として、あてはまる番号に1つだけ○を付けてください。

- | | | |
|-----------------|---------------|--------------|
| 1 建設業 | 7 小売業 | 13 教育、学習支援業 |
| 2 製造業 | 8 金融、保険業 | 14 医療、福祉 |
| 3 電気・ガス・熱供給・水道業 | 9 不動産・物品賃貸業 | 15 その他のサービス業 |
| 4 情報通信業 | 10 専門・技術サービス業 | 16 その他 |
| 5 運輸業 | 11 宿泊業 | () |
| 6 卸売業 | 12 飲食サービス業 | |

問1-2 貴社の①法人設立年、及び②現経営者の性別を教えてください。

①法人設立年 西暦 年 (もしくは和暦 M. T. S. H.) 年

②現経営者の性別 1. 女性 2. 男性
(どちらかに○)

問1-3 貴社の役員数および管理職、管理職を除く従業員ごとの社員数を男女別にご記入ください。

		女性	男性
役員		人	人
管理職 (注1)	課長相当職以上 (役員を除く)	人	人
	係長相当職	人	人
従業員 (注2) ※管理職を除く	正社員	人	人
	非正社員 (注3)	人	人

(注1)管理職は企業の組織系列の各部署において配下の係員等を指揮・監督する役職のほか、専任職、スタッフ管理職等と呼ばれている役職を含みます。課長、係長等の役職名を採用していない場合は、貴社の実態により適宜判断していただき、管理職に該当する者が全員計上されるよう記入してください。

(注2)この調査では直接雇用関係のある労働者を「従業員」と呼んでいます。

(注3)非正社員はパート・アルバイトとして働いている人を指します。

問1-4 過去5年間の1～5の項目について、それぞれあてはまる番号に○を付けてください。

	増加傾向	増減なし	減少傾向
1 売上高	1	2	3
2 経常利益	1	2	3
3 従業員数	1	2	3
4 従業員のうち女性の割合	1	2	3
5 管理職のうち女性の割合	1	2	3

Ⅱ 女性の雇用について

問2 今後(おおむね5年後を目安に)貴社では女性従業員の数を、現在と比べてどのようにしたいとお考えですか。あてはまるものを1つだけお選びください。

- | | | | | | |
|---------------|---|------|---------|---|-------|
| 1 増やしたい | → | 問3へ | 3 減らしたい | → | 問2-1へ |
| 2 増やしていく考えはない | → | 問2-1 | 4 わからない | → | 問3へ |

問2-1 問2で、「2 増やしていく考えはない」または「3 減らしたい」を選んだ方におうかがいします。その理由について、あてはまるものを3つまでお選びください。

- 1 就ける職種が限られている
- 2 業務に必要な経験・知識が不足している
- 3 判断力・折衝力・企画力・マネジメント力などが不足している
- 4 女性自身が昇進や活躍を望んでいない
- 5 家事や子育ての負担を考慮する必要がある
- 6 結婚や出産で退職する女性が多い
- 7 残業・出張・転勤をさせにくい
- 8 女性従業員が休業した場合に代替要員の確保が難しい
- 9 女性が働きやすい職場環境を整備する負担が重い
- 10 取引先の理解が十分でない
- 11 男性従業員の理解が十分でない
- 12 管理職の理解が十分でない
- 13 役員層の理解が十分でない
- 14 配偶者・パートナーや家族の理解が十分でない
- 15 その他()

問3 貴社で、女性を雇用するメリットとしてどのようなことが考えられますか。あてはまるものを3つまでお選びください。

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1 優秀な人材を確保できる | 6 生産性が向上する |
| 2 従業員の定着率が高まる | 7 新たな商品、サービスの開発につながる |
| 3 従業員の勤労意欲が高まる | 8 新たな販路開拓につながる |
| 4 職場の雰囲気が良くなる | 9 特にはない |
| 5 企業イメージが向上する | 10 その他() |

Ⅲ 女性活躍推進について

問4 貴社では、女性を管理職に登用することについて、どのようにお考えでしょうか。あてはまるものを1つだけお選びください。

- | | |
|------------|--------------|
| 1 重視している | 3 あまり重視していない |
| 2 やや重視している | 4 重視していない |

問5 貴社で、女性管理職登用のメリットについてどのようなことが考えられますか。あてはまるものを2つまでお選びください。

- 1 企業イメージが良くなる
- 2 職場の雰囲気が良くなる
- 3 女性社員のモチベーションが向上する
- 4 意思決定層が多様化する
- 5 優秀な人材が採用できる
- 6 売上や利益が向上する
- 7 男性社員に良い刺激になる
- 8 特にない
- 9 その他()

問6 貴社で、女性管理職登用にあたり妨げとなっている要因について、あてはまるものを3つまでお選びください。

- 1 管理職になることを希望する女性従業員が少ない
- 2 必要な知識や経験等を有する適任者が育成されていない
- 3 勤務年数が短く、管理職になるまでに退職する
- 4 残業・出張・転勤等への柔軟な対応ができない
- 5 労働時間が長く、家庭との両立が難しい
- 6 女性が就けるポストが限られている
- 7 両立支援制度(育児・介護休業や短時間勤務制度など)利用者の代替要員の確保ができない
- 8 社内の理解が不十分である
- 9 顧客や取引先の理解が不十分である
- 10 その他()

問7 貴社における女性管理職の登用やキャリア形成など女性活躍推進に向けた取組について、あてはまるものを1つだけお選びください。

- | | | | | | |
|-------------|---|-------|-------------|---|-------|
| 1 現在取り組んでいる | → | 問7-1へ | 3 取り組む予定はない | → | 問7-3へ |
| 2 今後取り組みたい | → | 問7-2 | 4 わからない | → | 問8へ |

問7-1 問7で、「1 現在取り組んでいる」を選んだ方におうかがいします。

貴社の取組の成果について、あてはまるものを1つだけお選びください。

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 成果が出ている | 3 成果があまり出ていない |
| 2 成果がやや出ている | 4 成果が出ていない |

問7-2 問7で、「1 取り組んでいる」または「2 今後取り組みたい」を選んだ方におうかがいします。
 取り組んでいる、または取り組んでいきたいと考えている項目について、それぞれあてはまる番号
 に○を付けてください。

	取り組んで いる	取り組んで いきたい		取り組んで いる	取り組んで いきたい
(1)昇進・昇格基準の明確化	1	2	(10)女性の管理職候補者の個別 育成	1	2
(2)人事評価基準の明確化	1	2	(11)女性の管理職候補者を対象 とした研修	1	2
(3)公正な人事評価を行うための 評価者研修	1	2	(12)女性管理職の積極的な登用	1	2
(4)幅広い仕事を積極的に経験 させる	1	2	(13)自己申告制度の活用	1	2
(5)女性が少ない、少ない職場への 女性の積極的な配置	1	2	(14)社内公募制度の活用	1	2
(6)女性の継続就業に関する支援	1	2	(15)女性活躍推進に関する男性 管理職及び男性社員への研修	1	2
(7)個人のキャリアアッププランの 作成	1	2	(16)ワーク・ライフ・バランスを促進 する取組	1	2
(8)女性社員に対する教育・研修 への参加の奨励	1	2	(17)経営トップの意思表示	1	2
(9)モデル(模範)となる女性社員の 育成	1	2	(18)その他()	1	2



問8へ

問7-3 問7で、「3 取り組む予定はない」を選んだ方におうかがいします。
 その理由についてあてはまるものを3つまでお選びください。

- 1 既に女性は十分活躍している
- 2 女性が少ない、またはいない
- 3 取り組む余裕がない
- 4 取り組める職場環境、風土でない
- 5 女性の意識が伴わない
- 6 男性からの理解が得られない
- 7 女性活躍推進の方法がわからない
- 8 コストがかかる
- 9 必要性がない
- 10 その他()

問8 企業における女性管理職の登用やキャリア形成など女性活躍を推進するための行政の取組について、特に必要と考えられるものを4つまでお選びください。

- 1 企業の女性活躍推進に向けた取組に対する助成金等の充実
- 2 企業の女性活躍推進のインセンティブとなるような優遇措置の充実
- 3 女性の活躍推進に取り組む企業を表彰・認証する制度
- 4 企業の先進的な取組事例を紹介する冊子配付などの情報提供
- 5 経営者や管理職を対象とした講演会や研修の開催
- 6 働く人全般を対象にした講演会や研修の開催
- 7 管理職登用などに向けて女性自身の意識の改革のための講演会や研修の開催
- 8 幅広い職務経験や教育・研修などによる女性自身のキャリアアップ、スキルアップへの支援
- 9 女性活躍のための社会全体の意識の醸成に向けた啓発
- 10 コンサルタントなど専門家を企業に派遣して行う個別アドバイス
- 11 保育・介護施設や保育・介護などに関するサービスの充実
- 12 男性の家事・育児・介護などへの参加を促進するための啓発
- 13 長時間労働の是正やセクハラなどハラスメント対策などの企業への働きかけや指導の強化
- 14 一般事業主行動計画策定など女性活躍推進への取組についての相談窓口の設置
- 15 働く女性同士の情報交換や異業種交流などのネットワーク構築の支援
- 16 女性の再就職支援
- 17 ワーク・ライフ・バランスの理解を促進するための啓発
- 18 その他()

IV ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)について

問9 貴社における仕事と家庭(出産・育児・介護)の両立支援の取組について、あてはまるものを1つだけお選びください。

- | | | | | | |
|-------------|-----|-------|-------------|-----|------|
| 1 現在取り組んでいる | } → | 問9-1へ | 3 取り組む予定はない | } → | 問10へ |
| 2 今後取り組みたい | | | 4 わからない | | |

問9-1 問9で、「1 現在取り組んでいる」または「2 今後取り組みたい」を選んだ方におうかがいします。仕事と家庭(出産・育児・介護)の両立を支援するための次の各項目について、【A 制度導入の有無】と「すでに導入済み」の場合は【B 過去3年間の利用実績】についてそれぞれあてはまる番号に○を付けてください。

	【A 制度導入の有無】 (明文化されているもの)				【B 過去3年間の利用実績】 (「すでに導入済み」の場合)		
	すでに 導入済み	導入 検討中	導入 予定なし		利用実績 あり	利用実績 なし	該当者が いない
(1) 育児休業制度 (利用実績については、女性従業員、 男性従業員ごとに○を付けてください)	1	2	3	女性従業員 → 男性従業員 →	1	2	3
(2) 介護休業制度	1	2	3	→	1	2	3
(3) 育児や介護などのための 短時間勤務制度	1	2	3	→	1	2	3
(4) 子の看護休暇制度	1	2	3	→	1	2	3
(5) フレックスタイム制度	1	2	3	→	1	2	3
(6) 時間単位での有給休暇の取得	1	2	3	→	1	2	3
(7) 始業・終業時刻の繰上げ・ 繰下げ	1	2	3	→	1	2	3
(8) 所定外労働(残業)の免除	1	2	3	→	1	2	3
(9) 転勤免除 (地域限定社員制度等)	1	2	3	→	1	2	3
(10) 事業所内託児施設の運営	1	2	3	→	1	2	3
(11) 育児に要する経費の援助 (ベビーシッター費用等)	1	2	3	→	1	2	3
(12) 在宅勤務制度	1	2	3	→	1	2	3
(13) その他()	1	2		→	1	2	3

問9-1-1 問9-1で、いずれかの両立支援制度について「すでに導入済み」を選んだ方におうかがいします。それらの導入などにより、企業全体ではどのような反応がありましたか。次の各項目についてそれぞれあてはまる番号に○を付けてください。

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わ ない
(1) 職場の雰囲気良くなった	1	2	3	4	5
(2) 職場が活性化した	1	2	3	4	5
(3) 女性の勤続年数が伸びた	1	2	3	4	5
(4) 女性の管理職が増えた	1	2	3	4	5
(5) 勤労意欲が高まった	1	2	3	4	5
(6) 良い人材を確保できた	1	2	3	4	5
(7) 同じ職場の人から不満が出た	1	2	3	4	5
(8) 利用していない人の仕事量が増えた	1	2	3	4	5

問10 貴社では、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を実現するために企業としてどのような取組が必要だと思いますか。あてはまるものを3つまでお選びください。

- 1 ワーク・ライフ・バランスの啓発や研修を行う
- 2 職場における業務削減の取組を行い、長時間残業の削減や労働時間の短縮を行う
- 3 フレックスタイムや在宅勤務など、働き方の見直しを行う
- 4 ワーク・ライフ・バランスに関する制度の充実を図る
- 5 経営トップや管理職が率先してワーク・ライフ・バランスに関する制度を利用する
- 6 ワーク・ライフ・バランスに関する制度が利用しやすい職場環境を作る
- 7 従業員のニーズを把握するための意識調査を定期的実施する
- 8 社内に相談・苦情処理の専用窓口を設置する
- 9 その他()

V ひとり親への支援について

ひとり親(とりわけ母子家庭の親)は、子育てと生計の維持を一人で担っていることから、就職にあたって一定の制約を受けたり困難を伴うことが少なくありません。ひとり親の雇用促進・自立支援を進めることで、女性の活躍を促進し、また子どもの成長を支えていくことにつながります。そこでおうかがいします。

問11 貴社でのひとり親の方の働き方について、あてはまるものを1つだけお選びください。

- 1 正規社員として働いている。
- 2 多くはパートなど非正規で働いている。
- 3 多くは非正規で働き、他の企業等でも働いている(ダブルワークをしている)者もいる。
- 4 該当者はいない・不明・その他()

問12 ひとり親を雇用する事業者への助成金について、知っているものをすべてお選びください。

- 1 ハローワークなどの紹介でひとり親を継続して雇用した事業者に賃金の一部を助成
- 2 ハローワークなどの紹介でひとり親を一定期間試行雇用した事業主へ賃金の一部を助成
- 3 正社員化コースを実施する際に、ひとり親の場合は助成金が加算

問13 貴社ではひとり親の雇用について、どのようにお考えでしょうか。あてはまるものをすべてお選びください。

- 1 積極的に雇用したい。
- 2 助成制度などを活用し、雇用に努めたい。
- 3 有能な人材であれば雇用したい。
- 4 残業・出張・転勤などで柔軟な対応ができないので雇用は困難。
- 5 家事・育児での休暇などが多くなるのが想定されるので雇用は困難。
- 6 雇用したいとは考えていない。
- 7 その他()

問14 ひとり親の継続就労に関する支援を行う上で、どのような取組が必要だと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。

- 1 短時間勤務、残業免除、在宅勤務など柔軟な働き方の改革
- 2 企業内保育など育児環境の整備
- 3 育児・看護など子どものために休暇や、時間単位での休暇取得など休みやすい環境整備
- 4 非正規雇用から正規雇用への転換
- 5 その他()

問15 ひとり親の雇用について、非正規雇用から正規雇用へ転換するうえでどのような課題がありますか。

質問は以上です。

岡山市が主催する講演会やセミナーなどの案内送付を希望する場合はご記入ください

岡山市では、女性の活躍やワーク・ライフ・バランスに関する企業の取組を促進するため、様々な講演会やセミナーを開催しています。
より多くの企業の皆様に受講していただくため、講演会やセミナー等の案内をお送りしたいと考えています。
送付を希望する場合は、貴社名、ご担当者氏名、ご連絡先等をご記入ください。
また、岡山市が上記講演会やセミナーを開催するにあたり、ご希望の講師がございましたらご記入ください。

貴社名		役職 ご芳名	
ご住所			
ご連絡先 (電話)			
e-mail (電子メールアドレス)			
希望講師			

最後までご協力いただきありがとうございました。
ご記入いただきました調査票は、返信用封筒に入れて、7月17日(火)までにご投函ください。